

島根県バレーボール協会 Vプロジェクト しまねバレー塾
JOC島根選抜Jr.（中学生）男子強化選手育成事業 ガイドライン

○全般的な事項

- 1) 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をチェックリスト化し掲示する。
- 2) 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する。
- 3) 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮する。
- 4) 感染が発生した場合に備え、参加当日に提出を求めた書面は保存期間（2ヵ月程度）を定めて保存する。

1. 当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置する。
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかける。
- 受け付けはマスク着用し、距離を十分保つ。
- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行う。
- 当日の受付のほか、前日までの受付を実施し混雑を極力避ける。
- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求める。

①全員の氏名と年齢、代表者の住所と連絡先（電話番号）の記載してある名表

②個別参加申請書

○当日の体温

○前2週間における以下の事項の有無（全員分）

- ・平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
- ・咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
- ・体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、息苦しい（呼吸困難）、疲れやすい等
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に入国制限／入国後の観察期間が必要な国、地域等への渡航や当該在住者との濃厚接触有無

8) 参加する保護者について

- 選手1人につき1名の保護者の入場を認める。
- 大会参加申請書に必要事項を記入し、受付に提出する。
- 受付でIDを受け取り、会場内では常に首からぶら下げておく。
- 申請された保護者以外へのIDの受け渡しは固く禁じます

2. 参加者への対応

○参加者について

本大会の参加者は以下のものに限定する。

- ・選手・チームスタッフ・保護者・協会関係者・受講者・運営スタッフ

1) マスク等の準備

参加者がマスクを準備しているか確認する。（無いものは施設へ入場できない）

競技を行っていない間には、マスクの着用を求める。

2) 参加前後の留意事項

練習前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。

会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する。

3. 主催者が準備すべき事項の対応

1) 会場・競技備品類

講習会を屋内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う。

定期的な換気に加え、空調の活用をする。（熱中症リスクにも備えること）

2) トイレ・手洗い場所

トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）は、こまめに消毒する。

トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。

手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する

「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

手洗いは持参したタオル、ハンカチで手をふくようにする。

手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。

3) 更衣室、休憩・待機スペース

広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。

ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。

複数の参加者が触れる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）は、こまめに消毒する。

換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する。

4) 講習会の注意事項

換気など適切な感染防止対策をする。

指導時でもできるだけ密集・接触を避ける。

競技中のハイタッチは腕のタッチにとどめる

タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用を禁止する。

補助スタッフの注意事項も明確にしておく。

5) 見学者の管理

体育館の壁際通路など、観戦場所が狭いスペースに限られる場合は観客の入場許可を見合わせる。

出入口付近通路に消毒剤を設置するほか、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席数を減らすなどの対応をとる。

内履きが必要な場合もスリッパの貸与は控えて、外履きを持ち込むための袋を持参するよう促す。内履きは持参すること。

声を出しての応援は行わない。

会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する。

6) ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、各自で持ち帰る。
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。

4. 参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。（利用当日に書面で確認を行う）
 - ①体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参する。（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保する。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 講習会中に大きな声で会話、応援等をしない。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。
- 講習会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、最寄りの保健所等に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。